

特別展

あわじガーデンルネサンス 2019

—美意識を育む花緑空間への新たな挑戦—



2019年10月5日(土) ~ 11月17日(日)

開館時間 10:00~18:00 会期中無休

ただし10/5(土)、12(土)、13(日)、19(土)、26(土)、
11/2(土)、3(日)、9(土)、16(土)は20:00閉館
※最終入館は閉館の30分前まで

入場料

大人 1500(1200)円 シルバー 750(600)円

高校生以下 無料

※()内は団体・前売り料金
※シルバーは70歳以上(要証明、生年月日の記載要)
※()内は団体料金 ※団体は20名以上

「ガーデンルネサンス2019」のお得な前売り券を阪神電車でも販売中!

[販売場所] 阪神電車/大阪梅田、神戸三宮の各駅長室、阪神梅田プレイガイド

兵庫県立淡路夢舞台温室
奇跡の星の植物館
兵庫県淡路市夢舞台4番地

交通アクセス



—美意識を育む花緑空間への新たな挑戦—

豊かな自然が生んだ日本人の自然観、その自然観が豊かな感性を育み独特の美意識を生み出しました。美意識の表現の一つである花文化は庭園、茶道、華道、園芸だけでなく、衣食住・芸能・芸術等を含む総合文化です。今回は「美意識が育む花緑空間への新たな挑戦」と題し、世界が憧れる日本の花文化を現代の暮らしの中で継承しながら、いかに自然を体験させ、豊かな感性を磨き美意識を育む空間づくりができるかの提案を試みます。

日本の美意識とは in ホワイエ

陰翳礼賛

一五感に訴える日本の美意識—

日本文化に興味を持つ海外の人は必ず読むという谷崎潤一郎の「陰翳礼賛」。アート・照明・香りで創る陰翳礼賛の世界をお楽しみください。



美意識を育む

令和草木奇品家雅見 (れいわそうもくぎひんかがみ) in 展示室1・2

奇跡の星の植物館が珍奇植物ファンに贈る「令和草木奇品家雅見」。植物館のコレクションが一堂に展示されます。

① Rare Succulents & Tuber Plants - 乾燥地の植物

塊茎植物、サンスベリア、ホヤ、アストロフィツム、エケベリア等



② Rare Tropical Plants - ジャングルの植物

虫との共生の植物のアリノスダマヤやネペンテス、カラーリーブスのコバルトシダやクリプタンサス、極小植物等勢揃い



日本の美意識を育む空間

in 展示室4



日本庭園は自然景観をモチーフにしています。狭くとも山紫水明を感じさせる庭、日本のデザインパターンで創る坪庭、和風 vertical garden 等、瓦や土壁等淡路で地域色を出した和風モダンガーデンを楽しんでください。

これぞ花育伝統園芸展

10/26 (土) ~ in 展示室4

兵庫県丹波篠山市では藩主青山忠良公が将軍から拝領をした古典江戸菊「お苗菊」を門外不出の菊として250年以上前から栽培。現在は篠山市菊花同好会によって継承されています。同好会が丹波篠山市立城北畑小学校に菊苗を提供し、菊花展への参加をお願いしたことから、小学生のお苗菊の栽培が始まりました。今年も篠山市菊花同好会と、丹波篠山市立城北畑小学校の皆様のお苗菊を展示させていただきます。



イベント&講演会

●オープニングイベント

10/5 (土) 10:00 ~ 13:00 ~
出演: ミラクルメイツ「ジバング」

●奇品珍品大市 10/5 (土) ~ 10/6 (日)

集まれ、珍奇植物趣味の若者! 多肉植物、トロピカルプランツをはじめオモトや盆栽等伝統園芸植物まで、日本人固有の美意識で選ばれた珍品奇品が揃います。愛知、三重の老舗が参加します。



ミラクルメイツ

美意識を継承する in 展示室3

江戸時代、武士道に通じる独特の美意識で創り上げられた日本の伝統園芸。室町時代から戦国時代、そして江戸時代に続く園芸ブームは将軍など身分の高い人だけでなく、商人そして庶民の間でも広がっていきました。

① 武士道と園芸



足利義政、織田信長が好んだ盆山、徳川家康が葉芸を楽しんだ万年青はじめ、文政の草木奇品家雅見に描かれる奇品植物に潜む「道」の世界をお楽しみください。

② 歌舞伎絵に見る町民たちの園芸

歌舞伎役者尾上菊五郎は無類の園芸好きで植木屋になりました。彼の植木屋とロバートフォーチュンも驚いた園芸ブームに沸く江戸の町を再現します。



新たな挑戦

ネオジャパネスクバルコニー

in バルコニー



① 和風壁面緑化 10/5 (土) ~ 10/20 (日)

狭い日本の生活空間では Vertical Garden は非常に有効な緑化手法です。植物館が2000年からテーマとしている「地域、アート、産業とのコラボレーション」で提案してきた、和洋数々の壁面緑化を一堂に展示します。



② なんと雅なローズガーデン 10/26 (土) ~

ヨーロッパの花といったイメージが強いバラの原産地は中国そして日本です。意外にも日本の古典文学の中にもバラの花が詠まれています。中国との交易が始まると、ゴウシンバラなど中国原産のバラが導入され、ノイバラなど日本の野生のバラは古典文学に登場しなくなりました。今回はロサ・シネンシス(庚申バラ)やクロードモネ等バイカラーの花、秋色の薔薇で雅なローズガーデンを創り上げます。

ジャパネスクガーデン - 蘇生の庭 -

in 展示室5



朽ちかけた樹木を盆栽の技術で甦らせ、新技術で創りあげたコケの壁面を借景に「美しいさび」をコンセプトに創り上げる「蘇生の庭」。樹木に新たな輝きを与えるネオジャパネスクガーデンです。

盆栽作家松末浩二氏と辻本智子プロデューサーがコラボします。



盆栽作家松末浩二氏

●萩巣樹徳氏講演会「植物学のすすめ—幻の植物を求めて」

10/5 (土) 14:00 ~ 15:30

幼少期より日本の伝統園芸植物の栽培技術を学び、ベルギー、オランダそしてイギリスのキューガーデン、ウィズレー植物園等で学ばれました。数々の原種植物や幻の植物の発見などの功績により1995年に王立園芸協会からヴィーチ記念メダルを受賞。今回は、植物の世界の面白さ・驚き・感動、そして私たちにとって植物と共に生きることがどんなに重要なことかをお話しいたします。



萩巣樹徳氏